

なるほど! IT活用事例集

市町村のためのIT活用事例と道内IT企業のご紹介

IT活用事例集 > 「e-村民」(1 / 2 / 3)

▼ サイトトップ

IT相談室

▼ 市町村の課題と
IT活用のヒント

活用事例集

▼ 人口規模別

▼ ジャンル別

▼ 事業予算規模別

道内IT企業集

▼ IT企業紹介

▼ 企業情報提供フォーム

アンケート結果

▼ 市町村アンケート結果

▼ 企業アンケート結果

▼ まとめ

▼ なるほど!
IT事例活用集 とは?

▼ リンク集

▼ サイトマップ

「インターネット村民=e-村民」

[福島県西白河郡泉崎村]

事業の内容と目的

インターネット上でのバーチャル村民登録制度です。村内分譲地「天王台ニュータウン」の村外向けアピールを目的とし、移住希望者に向けた施策を広く告知しています。また、メールマガジンの配信と各種行事参加資格などの特典により、村への関心拡大も狙っています。

URL:<http://www.webinfo.co.jp/izumizaki/>

泉崎村のデータ / 福島県西白河郡泉崎村

人口:6,823人(平成12年度国勢調査)

面積:35.40平方km

事業年度と事業予算

平成14(2002)年度	Webサイト開設、維持・更新に135万円
平成15(2003)年度	維持・更新に60万円
平成16(2004)年度	更新に60万円(福島県・地域づくりサポート事業を適用)

事業関係者

発注者

泉崎村

<http://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>E-mail: kikaku@vill.izumizaki.fukushima.jp

TEL: 0248-53-2111

FAX: 0248-53-2958

受注者

有限会社 販売企画研究所

<http://www.popland.jp/>

担当した業務	<ul style="list-style-type: none"> ・サイト構築・管理 ・サイトコンテンツ取材・編集・制作 ・メールマガジン編集・発行
--------	---

次へ

事業の概要 > [事業の詳細](#) > [担当者・受注者のコメント](#)

なるほど！IT活用事例集

市町村のためのIT活用事例と道内IT企業のご紹介

IT活用事例集 > 「e-村民」(1 / 2 / 3)

▼ サイトトップ

IT相談室

▼ 市町村の課題とIT活用のヒント

活用事例集

▼ 人口規模別

▼ ジャンル別

▼ 事業予算規模別

道内IT企業集

▼ IT企業紹介

▼ 企業情報提供フォーム

アンケート結果

▼ 市町村アンケート結果

▼ 企業アンケート結果

▼ まとめ

▼ なるほど！IT事例活用集とは？

▼ リンク集

▼ サイトマップ

「インターネット村民=e-村民」事業の詳細

事業に至る経緯

事業発案の経緯

泉崎村は福島県の南部、東北新幹線新白川駅にも近く東京から約2時間の距離に位置しています。同村ではその交通の便を活かした分譲地「天王台ニュータウン」の分譲を進め、全約200区画中、およそ100区画が販売されてきました。

さらに販売を促進したいと考えてきたのですが、良い方策がなかなか見つからない状況が続いていました。そこで民間のノウハウを活用しようと(有)販売企画研究所に分譲地販売促進のためのアイデアを求めたところ、インターネットを利用した村民登録制度「e-村民」制度が発案されたのでした。

事業の内容

事業の内容とサイトの構成

「e-村民」とはインターネット上で登録する仮想住民です。「e-村民」への登録は無料でWebサイトにあるフォームから申込みをすることができます。

「e-村民」になると「e-村民」認定証(B5サイズ)とカード(名刺サイズ)が進呈されるほか、村主催の交流会に参加することができたり、村の特産品を「会員割引価格」で購入できたりするといった特典があります。また、村を訪れた際には村内の公共施設やレジャー施設を「e-村民会員割引」で利用することができます。さらに、村への移住希望者には求人情報が提供され「天王台ニュータウン」を購入し移住した際には3年間で最大300万円の通勤費が助成される「ゆったり通勤奨励金」制度もあります。

村主催の交流会は年に数回開催され、「e-村民」のほか、村の住民、職員が集い、さまざまなイベントを通じて交流を深めます。これまでに「そば打ち交流会」「餅つき交流会」のほか、農業体験を中心とした四季折々の企画が行われてきました。

また、東京・銀座から無料バスで泉崎村まで送迎するという現地見学ツアーの試みもこれまでに3回開催されています。

これらの企画の様子はWebサイトで閲覧することができるほか、「e-村民」は月平均3回の割合で発行されているメールマガジンを通してその様子を知ることができます(バックナンバーはサイトでの閲覧が可能)。

「e-村民」ページの構成

ページ名	内容
「e-村民」大募集	登録の案内とフォーム
現地無料招待会ご報告	村民との交流のようすを紹介
職業紹介所	役場内の無料の「職業相談所」を紹介した新聞記事を掲載
「e-村民」認定式	「e-村民」認定式のようすが掲載された新聞記事で構成
案内図	アクセスマップ
ダイスキ！泉崎村	住環境を中心とした村の紹介
天王台ニュータウン	宅地の紹介
天王台通信	天王台のできごとを紹介
天王台かわらばん	天王台の住民へのインタビュー
泉崎村の民話	7つのおはなしを紹介
農産物直売所	地元農家の取り組みを紹介
なんでも情報館	いわゆるTOPICS
泉崎村役場	役場公式サイトへのリンク

事業の効果

課題・目標の達成度:60% (市町村担当者の感覚的な数値として)

「e-村民」の数は確実に増加しており、平成16年12月現在、およそ1,700名が登録をしているとのこと。「達成度」の数値は今年度の「e-村民」の目標人数が3,000名であることから。

また、交流会や無料現地見学会の参加者の中には実際に泉崎村を見て「天王台ニュータウン」への移住を決めたり予約をした人もいます。交流会の参加者は「e-村民」、村民合わせて約50名ほどですが、福島県外からの常連参加者もいるということです。

事業の将来像

今後の取り組みについて

「e-村民」は都市と地域の交流という面である程度の成果を上げつつあるとはいえ、肝心の「天王台ニュータウン」販売数は増えていないとのこと。これからさまざまな魅力を生む取り組みを行いながら小さな実績を積み重ねていく必要があるということです。例えば、泉崎村に住むといっても完全に移住してしまうのではなく、半定住のような形で年に半年泉崎村で過ごすといったような「住み方」のバリエーションを提示していきながら、その実例を作ることで新たな活気が生まれてくるのではないかと、そんな将来像を描いています。

[次へ](#)[事業の概要](#) > [事業の詳細](#) > [担当者・受注者のコメント](#)

なるほど！IT活用事例集

市町村のためのIT活用事例と道内IT企業のご紹介

IT活用事例集 > 「e-村民」(1 / 2 / 3)

▼ サイトトップ

IT相談室

▼ 市町村の課題とIT活用のヒント

活用事例集

▼ 人口規模別

▼ ジャンル別

▼ 事業予算規模別

道内IT企業集

▼ IT企業紹介

▼ 企業情報提供フォーム

アンケート結果

▼ 市町村アンケート結果

▼ 企業アンケート結果

▼ まとめ

▼ なるほど！IT事例活用集とは？

▼ リンク集

▼ サイトマップ

「インターネット村民=e-村民」 担当者・受注者のコメント

苦勞している点

発注者

「e-村民」の方が実際に村民になられるといっても、地元での就職先の問題があります。希望する職種、特に事務系の職種の需要があまりないために、いざ移住となっても躊躇してしまう方もいらっしゃいます。その点をクリアしながら泉崎村の魅力をどのように伝えていくのか、まだまだ課題はたくさんあります。

工夫した点

受注者

分譲地の販売が目的なので、そのプロモーションを限られた予算の中でどのように協力していくのか、その一環として「e-村民」を提案させていただきました。またオフラインでの活動(交流会・無料見学会への案内)への協力もさせていただいています。

後発へのアドバイス

発注者

オフラインでの仕掛けを作るとしても、できるかぎりマンネリにならないよう、メリハリのある企画を立てることが大切だと思います。

受注者

都会に住む人達は退職後の生活の場に関する情報は案外少ないので、こちらから積極的に情報を発信していくことが必要でしょう。あきらめないでチャレンジ精神を持って続けることが何よりも大切だと思います。

取材者のコメント

「e-村民」のような取り組みは、新しい帰属意識、コミュニティを生み出す大きな可能性を持っています。また、双方向性を利用して、情報を発信するだけでなく、逆に、地域外の人目から見たさまざまなアイデアをもらう仕組みとしても使えるのではないのでしょうか。

[事業の概要へもどる](#)[事業の概要](#) > [事業の詳細](#) > [担当者・受注者のコメント](#)